

# 中小河川の洪水対策

建設局

新たな目標整備水準である区部時間75ミリ、多摩時間65ミリの実現に向け、護岸や調節池などの整備を推進

⑤野川大沢調節池  
調布基地跡地（三鷹市）  
規模：約68,000m<sup>3</sup>  
※既存とあわせて約158,000m<sup>3</sup>

④下高井戸調節池  
区立下高井戸おおぞら公園  
（杉並区）  
規模：約30,000m<sup>3</sup>

③和田堀公園調節池  
都立和田堀公園（杉並区）  
規模：約17,500m<sup>3</sup>

①都立城北中央公園調節池（一期）  
都立城北中央公園（練馬区・板橋区）  
規模：約250,000m<sup>3</sup>  
※一期：約90,000m<sup>3</sup>

⑥境川木曾東調節池  
境川クリンセンター跡地（町田市）  
規模：約49,000m<sup>3</sup>

⑦境川金森調節池  
西田スポーツ広場（町田市）  
規模：約151,000m<sup>3</sup>

②環状七号線地下広域調節池  
（練馬区・中野区）  
規模：約681,000m<sup>3</sup>  
※既存とあわせて約1,430,000m<sup>3</sup>

⑧谷沢川分水路  
環状八号線、玉川通り等（世田谷区）  
規模：約3.2km

対策強化流域（9流域）  
①～⑧ 工事中の調節池など

※写真は整備イメージ

昨年実施した防災事業の緊急総点検を踏まえ、石神井川など8河川において新たな調節池の事業化に向けた検討に着手



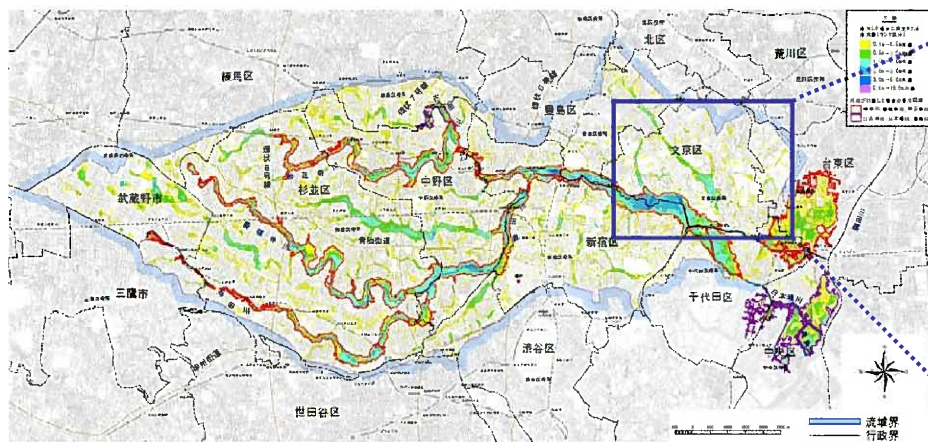
# 浸水予想区域図の改定

建設局・下水道局

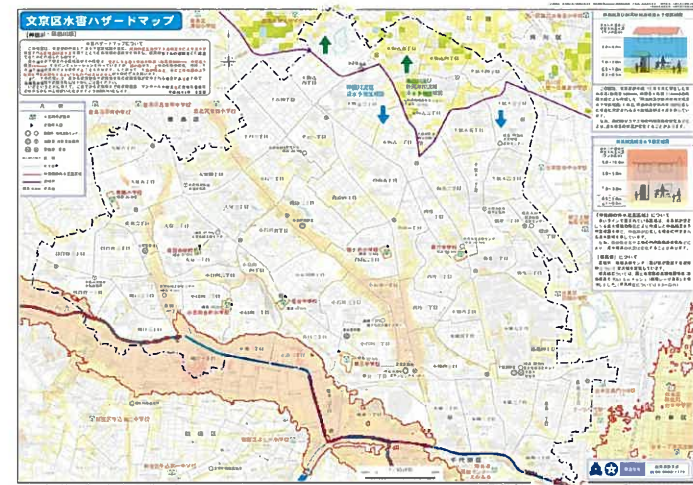
- 平成13年に都と区市町村が連携して「東京都都市型水害対策検討会」を設置
- 12年の東海豪雨（時間114ミリ）を対象降雨とし、外水と内水の浸水範囲と最大水深を一体表示した浸水予想区域図を作成【都独自の取組】
- 20年度までに都内全14流域を公表しており、区市町村の作成する洪水ハザードマップに活用
- 27年水防法改正に伴い、対象降雨を想定し得る最大規模の豪雨(時間153ミリ)に変更し、順次改定中
- 本年5月時点で5流域を改定しており、これを基に現在8つの区が洪水ハザードマップを改定し公表済
- 令和2年度までに全14流域を改定予定



## 浸水予想区域図作成流域



神田川流域浸水予想区域図（改定）



文京区水害ハザードマップ

## ホットメールについて

東京都

メール  
送信

区市町村長

**区市町村長へのプッシュ型  
ホットメール**

区市町村長の携帯電話・スマートフォン等へ避難勧告に直結する氾濫危険情報を直接連絡する。

⇒「今まさに危険な状態であることを伝達」

- 避難勧告発令の目安となる氾濫危険情報を、複数の区市町村長へ同時に直接メールする「ホットメール」を構築【全国初の取組】
- 防災担当部署にも同時にメールを送信
- メール本文に東京都水防本部への区市町村長専用回線の電話番号を記載
- 東京都が管理する洪水予報河川・水位周知河川の流域自治体が対象
- 平成30年6月29日 運用開始

## ホットメール配信文例

### (洪水予報河川)

神田川、渋谷川・古川、目黒川、野川・仙川、芝川・新芝川

#### 目黒川氾濫危険情報

目黒川洪水予報第1号

洪水警報（発表）

令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分

東京都・気象庁予報部 共同発表

【警戒レベル4相当情報 [洪水]】目黒川 今後氾濫するおそれ（主文）

【警戒レベル4相当】この氾濫危険情報は、避難勧告等（垂直避難を含む）の発令の目安となる情報です。

流域の住民は、建物の二階に避難するなど浸水に警戒してください。

特に、地下施設は水が流れ込むおそれがありますので、十分警戒してください。

■予想（〇〇日〇〇時〇〇分までの水位の見込み）

青葉台 氾濫発生水位に到達する見込み

■実況（〇〇日〇〇時〇〇分の水位）

青葉台水位観測所 [右岸目黒区青葉台 左岸目黒区青葉台]

氾濫発生水位まで あと 〇〇センチ

（観測情報ホームページ）

～中略～

問い合わせ先

東京都水防本部（建設局河川部）

03-〇〇〇〇-〇〇〇〇（ホットライン）

### (水位周知河川)

善福寺川、妙正寺川、石神井川、境川、鶴見川、恩田川、真光寺川

本文：

水位周知河川情報

善福寺川氾濫危険情報 西田端橋水位観測所

令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分

東京都建設局発表

（主文）

【警戒レベル4相当情報 [洪水]】

善福寺川の西田端橋水位観測所で、避難勧告等（垂直避難を含む）の発令の目安となる氾濫危険水位A.P.40.56mとなりました。

堤防の天端まであと0.30mとなっております。

（観測情報ホームページ）

～中略～

問い合わせ先

東京都水防本部（建設局河川部）

03-〇〇〇〇-〇〇〇〇（ホットライン）

## 実施状況

- 平成30年度は8月27日に目黒川で氾濫危険情報を発表し、ホットメールを発信



## 1 スマートデバイス対応

スマートフォンやタブレット等のスマートデバイス向けページの公開

- 位置情報を活用し、利用者周辺の河川水位等の情報を提供
- 操作のしやすさ、画面の見やすさが向上
- 都民や旅行者が水害の危険性を判断できる情報の発信強化



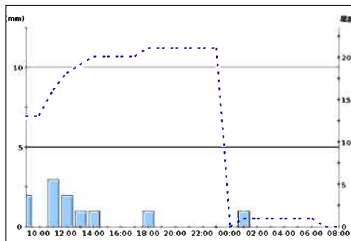
画面の一例

: 利用者の現在地

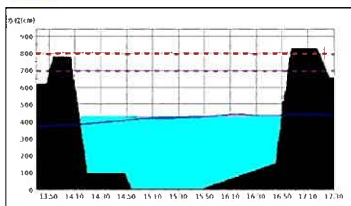
: 河川映像



: 雨量



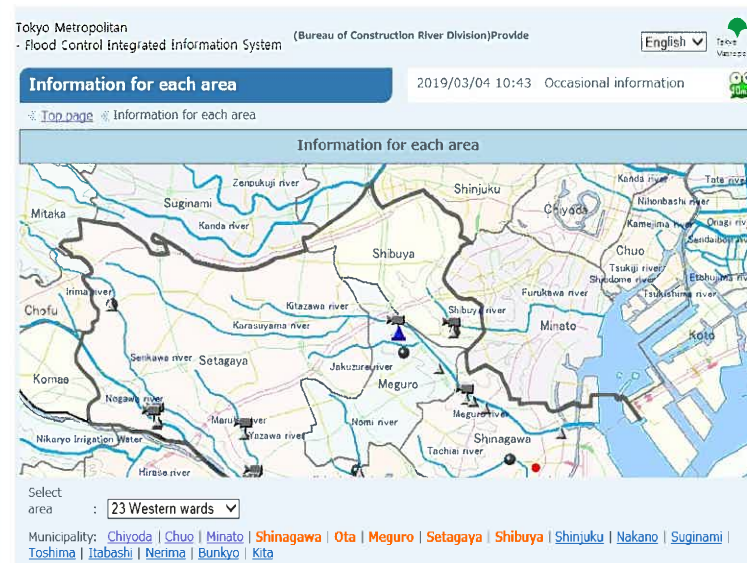
: 河川水位



## 2 多言語対応

英語・中国語(簡体字)・韓国語ページの公開

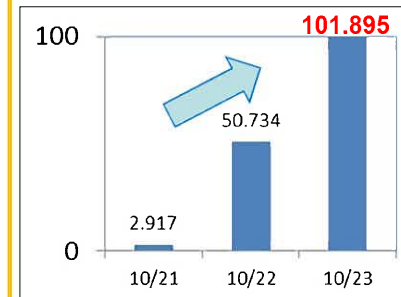
- 外国人の住民や海外からのお客様への水防災情報の発信強化



パソコン版 英語画面の一例

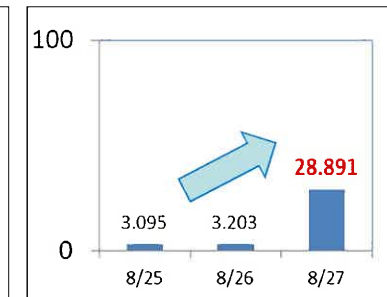
## 豪雨時のシステムへのアクセス状況

アクセス数 (千件)



平成29年10月23日 (台風21号)

アクセス数 (千件)



平成30年8月27日 (集中豪雨)